

大規模災害と学校給食

I 研究の趣旨

- 東日本大震災、原発事故から得た貴重な学校給食の体験を記録に留め、緊急時の対応の教訓とする。
- 学校給食用食材の処理過程における放射性物質の科学的処理方法などについて資料を収集、整理し、学校給食非常時における対策や食の安全・安心の普及充実に資する。

II 研究の内容

- (1) 大規模災害時に学校給食が直面した様々な問題を整理し、今後の課題や対策の方向性を探る。
- (2) 大規模で長期化する放射能災害の中で、体内被曝を避ける学校給食の在り方について、様々な実例や科学的知見を収集し整理する。
- (3) 学校給食緊急時における対策

III 研究の対象

- (1) 第1章調査対象
 - ① 県内小学校：496校、中学校：238校
 - ② 県内単独調理場：244校、共同調理場：85施設
- (2) 第2章調査対象
 - ① 県内小学校：496校、中学校：238校
 - ・単独調理場：25校、共同調理場受配校：199校
 - ② 県内調理場：44施設
 - ・単独調理場：25施設、共同調理場：19施設

IV 研究の方法

- (1) 研究期間 平成24年度
- (2) 調査期日
 - ① 第1章調査（福島県教育庁健康教育課） 平成23年3月～4月
 - ② 第2章調査（食育に関する緊急調査研究会） 平成24年7月～8月
- (3) 調査方法 質問紙法
- (4) 研究方法
 - 第1章調査は、福島県教育庁健康教育課の調査データを整理する。
 - 第2章調査は、「①被害状況班」「②学校給食開始までの対応状況班」「③学校給食開始からの状況班」「④放射能災害への主な対応と課題班」の4班を編成し、調査研究に取り組む。
 - 第3章は、公益財団法人福島県学校給食会の取組みを事務局で整理する。
 - 第4章は、「放射能災害に対する主な対応」と「災害時の主な対応」の2課題について、4班編成で文献を基に整理する。
 - 「調査研究報告書」は、県内の小中学校等関係機関及び全国の学校給食会に配布する。

V 研究の全体構想と調査項目

